

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.6
平成27年6月22日

学年全体で応援!

「A君、がんばれ!」学年全員の応援の声が、プールサイドに響き渡っていました。6月19日(金)の3時間目の水泳指導のときのこと。櫻井先生の付き添いの下に水泳練習をしているA君に応援のシュプレヒコールが送られていたのです。4年生全員が、心をひとつにして声を限りに一生懸命応援していました。その光景は、まるで4年生全体が一つにつながっているかのように思えました。



A君にとって、学年全員の応援は、何よりも大きな力となって伝わってきたのではないかと思います。仲間を思う、4年生全体の優しい雰囲気を感じました。

全校朝礼の話より(6/22) 一心の器を大きくしよう

校長先生は、2~3日前の中日新聞の「ヤングアイズ」という、投書欄で印象的な記事を見つけたので、今から児童会長の山下君に読んでもらいます。

上石 快 小学生(愛知県蒲郡市) 11歳

ぼくは、小学6年生。学校の最高学年なのに、5年生の半分以上の人より背が低い。お父さんは背が高いのに、ぼくは、背が低い。ぼくが入っているサッカーチームのかんともくにも「快は、大きくならんかなあ」とよく言われる。なんとなくくやしかった。

家に帰って、牛乳をいっぱい飲んだ。でも、すぐには大きくなると、わかっている。

ぼくは、考えた。背が大きくなれないなら、心の器(うつわ)を大きくしよう。

そういうことで今、委員会で全校集会の遊びを考えたり、あいさつ活動で学校を良くしようとがんばっている。背がすぐ大きくなれないなら、せめて、心を大きく開いて人にやさしくしたいと思った。

クラスの背が高い子を見るとうらやましいと思っている。

今も牛乳を飲んでがんばっている。大人になったら、心も体も大きくなりたいな。

中日新聞「ヤングアイズ」より



みなさんと同じ愛知県蒲郡市の小学6年生が書いた作文です。背が小さいので牛乳を飲んで、大きくなろうとがんばっている。でも、すぐには大きくなれないから、「心の器を大きくし、心を大きく開いて、人にやさしくしたい」と、素晴らしい決意をしています。

桜小のみなさんも、この子のように心の器を大きくし、人にやさしい子になってください。